

軟式野球競技開催要項

1 目的

本大会は、競技を通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯感を高めることにより、スポーツ少年団活動をより一層推進して、更なる活性化を図ることを目的とする。

2 主催

公益財団法人長野県体育協会 長野県スポーツ少年団

3 主管

北信地区スポーツ少年団連絡協議会 山ノ内町スポーツ少年団

4 後援

山ノ内町教育委員会

5 協力

山ノ内町少年野球連盟

6 期日及び日程

平成28年5月7日（土）・8日（日）

<1日目> チーム受付 8時00分～ (山ノ内町営上林グラウンド/本部)

代表者会議 8時10分～ (同 上)

開会式 8時30分～

競技開始 9時00分～

<2日目> 競技開始 8時30分～

※ 荒天などで大会開催が危ぶまれる時は、大会当日の午前6時頃に事務局から各チームの代表者へ電話連絡する。(事務局への問い合わせ対応はできません。)

7 競技会場

山ノ内町営上林グラウンド・山ノ内町立南小学校グラウンド

8 参加資格

(1) 平成28年度長野県スポーツ少年団登録団員及び指導者（認定員又は認定育成員）であること。

※ 申込時点で資格のない指導者であっても、今年度新規登録者で認定員資格取得見込み者は認めるものとする。

(2) 団員及び指導者は、スポーツ傷害保険に加入していること。

9 チーム編成

各団1チームとし、指導者4人以内（監督含む）、小学4年生から6年生までの団員で20人以内とする。

10 競技規則

平成28年度「公認野球規則」、「公益財団法人全日本軟式野球連盟競技者必携/学童野球に関する事項」及び本大会申し合わせ事項により行う。

11 競技方法

- (1) トーナメント方式（勝ち上がり戦）とする。3位決定戦は行わない。
- (2) 試合は、5回戦とする。（ただし、1時間を超えて新しいイニングに入らない。）
また、試合終了時点で同点の場合は、最終回の攻守9人により、抽選で勝敗を決定する。
- (3) 得点差のコールドゲームは採用しない。
- (4) 雨天などで大会運営に支障がある場合は、試合のイニング数の減少及び中止に関する事等大会本部の判断により決定する。
また、荒天等で日程を変更した場合の競技方法（順位決定方法）等については、別紙「荒天時の対応について」のとおりとする。

12 表彰

優勝、準優勝、3位（2チーム）の4チームに賞状を授与する。

◆優勝、準優勝の上位2チームは、「第38回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会長野県大会」への出場権を得るものとする。

13 参加料

1チーム 1,000円（大会当日の受付時に徴収します。）

14 申込方法

〈単位スポーツ少年団の皆さん〉

所属する各市町村スポーツ少年団事務局へ、別紙「大会参加申込書」により申し込むこと。
〈各市町村スポーツ少年団事務局の担当者〉

単位スポーツ少年団からの申込書を取りまとめの上、山ノ内町スポーツ少年団事務局へ郵送、FAX又はEメールで申し込むこと。

申込期限 … 4月26日（火）まで **【期限厳守】**

15 その他

- (1) 参加団員は、所属学校に参加の届け出をし、参加してください。
- (2) 参加団は、少年団旗・団名プラカードを持参すること。
- (3) 参加団員・指導者及び補助者は、昼食持参のこと。
- (4) 参加にあたっては、団員の健康管理に十分留意してください。睡眠不足や欠食等が熱中症の原因になります。適宜水分補給を行ってください。
- (5) 参加団は、応急手当の準備をしておくこと。競技中の事故、病気、怪我等については応急処置のみとし、その他の責任は一切負いません。各団の責任において対処してください。
- (6) 組み合わせ抽選は、大会事務局の責任抽選とする。

16 お問い合わせ・申し込み先

〒381-0498 下高井郡山ノ内町大字平穏3352番地1
山ノ内町スポーツ少年団事務局
TEL / 0269-33-1102 FAX / 0269-33-4355
E-mail / shogai-taiiku@town.yamanouchi.nagano.jp

大会申し合わせ事項

- 1 ベンチは組み合わせ番号の早い方が1塁側とする。
- 2 ベンチ入りは登録された監督、選手のほかに指導者3名までとする。
- 3 主将は10番、監督は30番の背番号を付けること。
- 4 ヘルメット・レガース・プロテクター・マスク・バットは全日本軟式野球連盟公認（JSBBマーク入）の物を使用し、打者・次打者・走者・ベースコーチ（2人）は両側にイヤーフラッグの付いた打者用ヘルメットを着用すること。また、キャッチャーは捕手用ヘルメット、レガース、プロテクター、マスク、ファウルカップを着用すること。
- 5 金属スパイクの使用を禁止する。
- 6 素振り用の鉄棒、バッドリングは使用禁止とする。
- 7 審判への抗議することは一切認めない。ただし、監督のみプレーに関する質問はできる。また、選手に指示する場合、監督はグラウンド内に出ることができるが、ラインまでとする。
- 8 ボークは1回目からとることとする。
- 9 試合球は公認C号ボールとし、各チームは試合ごとに2個ずつ用意する。
- 10 メンバー表の交換は、各試合の前（第1試合は試合開始予定20分前、第2試合からは前の試合のプレイボールと同時に）に各グラウンド記録席にて行う。4部記入して、主審 — 本部へ提出する。
- 11 各チームは、塁審2人、ボールボーイ1人を出すこと。（試合当事者以外のチームがこれにあたる）
 - ・審判割り当ては組み合わせ後、大会事務局で決定する。
 - ・準決勝及び決勝の主審は大会事務局で手配する。
 - ・サングラス、半ズボン、サンダルは禁止とする。
 - ・必ず野球帽やトレーニングウェアなどを着用すること。
- 12 試合終了後のグラウンド整備は、試合を行った両チームで対応すること。

◆選手の投球制限について

発育発達期における選手の投球における過度の負担を避けるため投球制限をします。

- ①投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、1日7イニングまでとする。
（ダブルヘッダーの場合は、前の試合に4回まで登板した場合、次の試合は3回まで）
- ②投球イニングに端数が生じたときの取り扱いについては、3分の1回（アウト1つ）未満の場合であっても、1イニング投球したものと数える。